科目名	住宅計画演習				
担当教員	星野 麻子		実務授業の有無	○	
対象学科	建築デザイン科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	32時間
授業概要、目的、授業の進め方	独立住宅を題材とし、設計の手法を学びます。建築空間の表現・伝達に必須である設計の知識・技術を、学ぶことで図面の必要性を理解し、簡単な図面、記号などを作成する実習 １．座学→演習→添削と解説を繰り返し行い習得レベル差ごとの指導も適宜行う。 ２．製図の基礎を中心に見方、描き方を解説・演習する。 ３．条件に則した設備設計の進め方の基本を理解する。 ４．最終的には、木造住宅の製図、炉計図課題を作成し、評価、解説行う				
学習目標（到達目標）	独立住宅を題材とし、設計の手法を習得する。一般論としての住宅計画の手法を整理し、次に、実際、各自でオリジナル住宅の計画を行いエスキスを完成させ住宅計画のノウハウを体得することを目的とします。また、建築士2級の技術試験範囲にあたる内容のため、合格点に達する習熟度を目標とする				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	①図解　すまいの寸法・計画事典 ②配布プリント				

NO.	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	一般的な住宅プランとは 標準的な住宅プランにおける、各室のプランニング上のポイント ①配置計画　②外構 ②ゾーニング　④動線計画 ⑤採光　⑥構造計画等 住宅プランのパターン	方法：教科書、プリント等の教材を使って説明し、作図の演習。課題提出後フィードバック ①～⑥の項目を理解し適正に作成、作図できる。 準備学習：教科書、プリントに示されている練習課題の予習と練習
2	オリジナル住宅エスキス① 簡単な住宅設計課題 条件：①建物規模の算定　②建物の配置　③平面計画	方法：教科書、プリント等の教材を使って説明し、作図の演習。課題提出後フィードバック ①～⑥の項目を理解し適正に作成、作図できる。 準備学習：教科書、プリントに示されている練習課題の予習と練習
3	オリジナル住宅エスキス② 前回と異なるパターンの住宅設計課題 条件：①建物規模の算定　②建物の配置　③平面計画	方法：教科書、プリント等の教材を使って説明し、作図の演習。課題提出後フィードバック ①～⑥の項目を理解し適正に作成、作図できる。 準備学習：教科書、プリントに示されている練習課題の予習と練習
4	発表、講評	作成した図面の発表と、その講評、解説

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
提出課題で評価する。確認テスト・課題70%、発表20%、平常点10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	全ての建築物を設計する上で基本となる設計手法を学ぶ授業です。設計条件の整理と考え方の流れを意識して取り組むことがポイントとなる。建築士試験に対応できる知識と技術を身につけるため。基本を固め、演習を繰り返すことでつけてスキルをを上げていく。個人作業が主体で、レベル差が出やすいので、適宜個人指導も行う。

実務経験教員の経歴	ハウスメーカーにて設計業務経験11年